Panasonic®

取扱説明書　操作・設定編

ネットワークカメラ

品番 DG-SP102

はじめに

取扱説明書について

本機の取扱説明書は本書（PDFファイル）と基本編の2部構成になっています。
本書は、ネットワークを経由してパーソナルコンピューター（以下、PC）から本機※を操作する方法と、PCから本機を設定する方法について説明しています。
本機の設置のしかたやネットワーク機器との接続方法については、取扱説明書 基本編をお読みください。
PDFファイルをお読みになるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。
PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Media、Internet Explorer、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名、商品名は、各会社の商標または登録商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。
Microsoft® Windows® 7 Professional 64ビット日本語版、Microsoft® Windows® 7 Professional 32ビット日本語版をWindows7と表記しています。
Microsoft® Windows Vista® Business SP1 32ビット 日本語版をWindows Vista と表記しています。
Microsoft® Windows® XP Professional SP3日本語版をWindows XPと表記しています。
Windows® Internet Explorer® 8.0日本語版、Windows® Internet Explorer® 7.0日本語版、Microsoft® Internet Explorer® 6.0日本語版をInternet Explorerと表記しています。

表示用プラグインソフトウェアについて

●本機で画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」をインストールする必要があります。表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールするか、付属のCD-ROM内の「nwcv4Ssetup.exe」をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

重要

●お買い上げ時は、「プラグインソフトウェアの自動インストール」を「許可する」に設定されています。ブラウザの情報バーにメッセージが表示される場合は、60ページをお読みください。

●最初にPCからライブ画ページを表示すると、カメラ画像の表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。

●ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り換えるたびにインストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。

●表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、「メンテナンス」ページの［バージョンアップ］タブで確認できます（☞52ページ）。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

もくじ

はじめに

操作

設定

設定

その他

PCから画像を見る

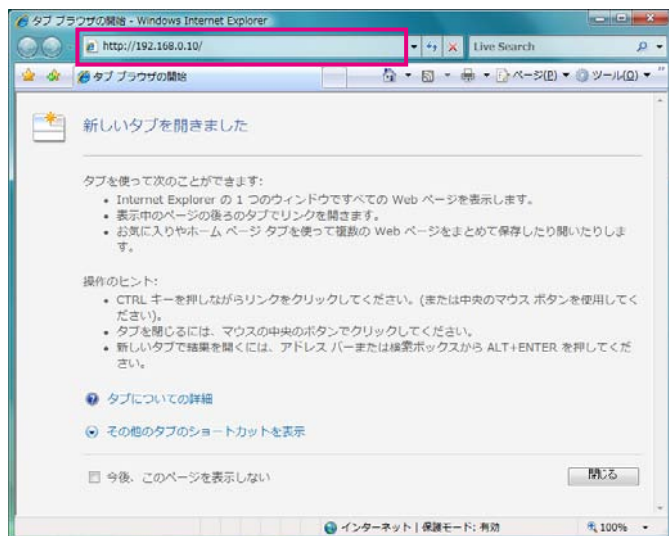
ここでは、PCからカメラの画像を見る方法を説明します。

1台のカメラの画像を見る

STEP1

PCのウェブブラウザーを起動します。

STEP2

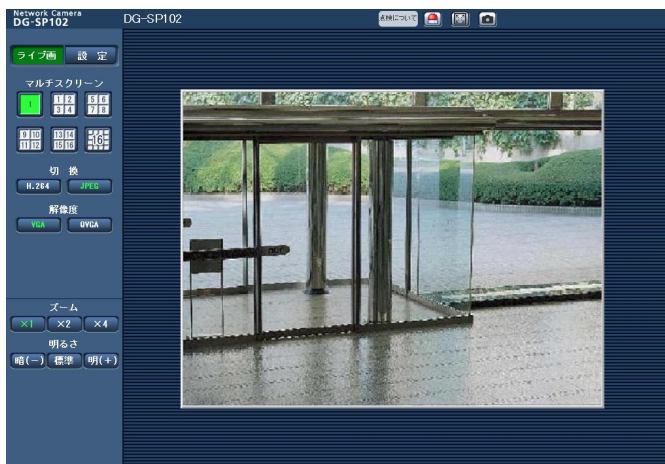
IP簡単設定ソフトで設定したIPアドレスを、ウェブブラウザーの［アドレス］ボックスに入力します。
IPv4アドレスの入力例：
http://IPv4アドレスで登録したURL
http://192.168.0.10/
IPv6アドレスの入力例：
http://IPv6アドレスで登録したURL
http://［2001:db8::10］/

〈IPv4アクセス例〉

〈IPv6アクセス例〉

重要

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://カメラのIPアドレス:ポート番号」を［アドレス］ボックスに入力してください。
  例：ポート番号が8080に設定されている場合：
  http://192.168.0.11:8080
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、ウェブブラウザー（メニューバーの「ツール」-「インターネットオプション」）からプロキシサーバーの設定を行ってください。

STEP3

［Enter］キーを押します。
→ライブ画ページが表示されます。ライブ画ページについての詳細は、8ページをお読みください。

「ユーザー認証」を「On」に設定した場合、ライブ画ページが表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。初期設定のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。
ユーザー名　：admin
パスワード　：12345

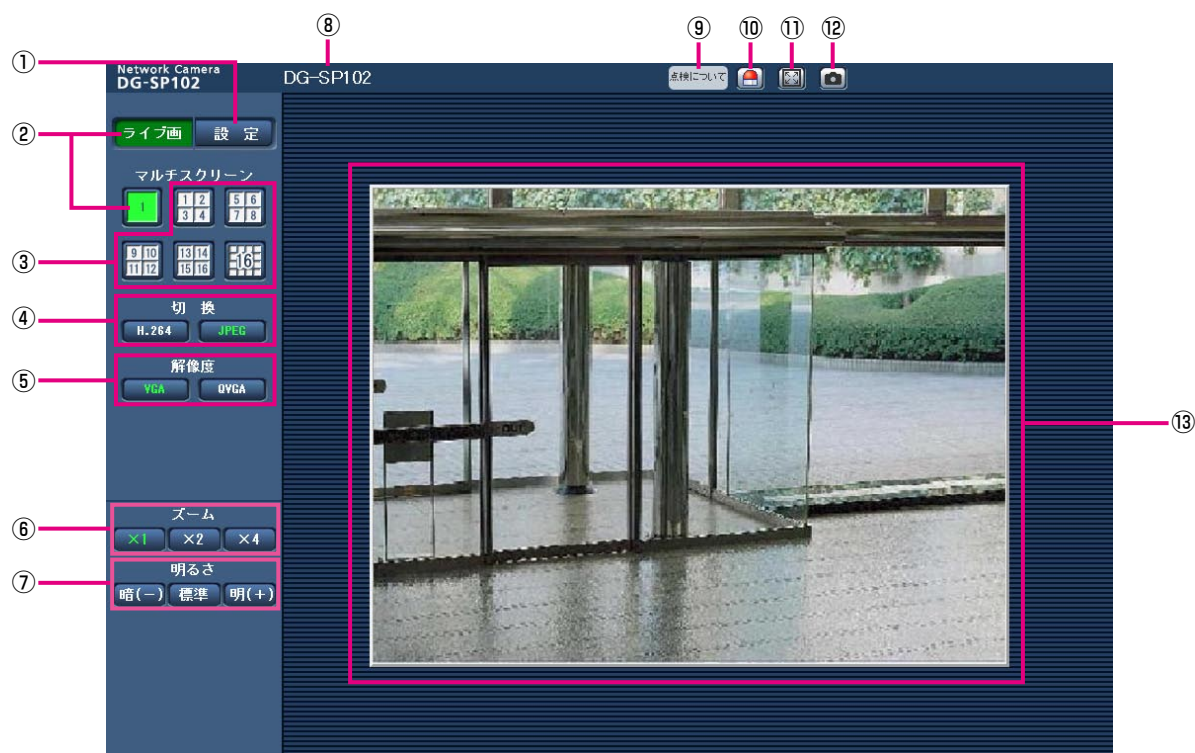
重要

- セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。パスワードは定期的に変更することをお奨めします。
- 1台のPCで複数のH.264画像を表示しようとした場合、PCの性能により、画像が表示されない場合があります。

メモ

- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264画像を受信しているユーザーとJPEG画像を受信しているユーザーとを合計した最大14人までです。ただし、「配信量制御（ビットレート）」、「1クライアントあたりのビットレート*」の設定によっては、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。アクセスできる最大ユーザー数14人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。「H.264」の「配信方式」を「マルチキャスト」に設定したとき、H.264画像を受信している2人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。
- 「H.264配信」（☞21ページ）を「On」に設定すると、H.264画像が表示されます。「Off」に設定すると、JPEG画像が表示されます。「H.264配信」を「On」に設定した場合でも、JPEG画像の表示は可能です。しかしこの場合、JPEG画像の画像更新速度は最大5 fpsに制限されます。
- JPEG画像の画像更新速度はネットワークの環境、PCの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。

  〈JPEG画像更新速度〉
  「H.264配信」が「On」の場合　：最大5 fps
  「H.264配信」が「Off」の場合　：最大30 fps

ライブ画ページについて

①［設定］ボタン※1
設定メニューを表示します。ボタンが緑色に変わり、設定メニューが表示されます。

②［ライブ画］ボタン
ライブ画ページを表示します。ボタンが緑色に変わり、ライブ画ページが表示されます。

③［マルチスクリーン］ボタン
設定メニューでマルチスクリーン表示するカメラを設定すると、1画面で複数の画像を見ることができます。（☞10ページ）

④［切換］ボタン
［H.264］ボタン
：ボタン上の「H.264」の文字が緑色に変わり、H.264画像が表示されます。設定メニューで「H.264(1)」の「H.264配信」を「On」に設定すると、［H.264］ボタンが表示されます。（☞21ページ）
［JPEG］ボタン
：ボタン上の「JPEG」の文字が緑色に変わり、JPEG画像が表示されます。

⑤［解像度］ボタン
このボタンは、JPEG画像が表示されているときのみ表示されます。
［VGA］ボタン
：「VGA」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がVGAサイズで表示されます。
［QVGA］ボタン
：「QVGA」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がQVGAサイズで表示されます。
［640×360］ボタン
：［640×360］の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が640×360サイズで表示されます。
［320×180］ボタン
：［320×180］の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像が320×180サイズで表示されます。

メモ
- ［VGA］［QVGA］ボタンは、「アスペクト比」の設定が「4:3」に設定されているときのみ表示されます。
- ［640×360］［320×180］ボタンは、「アスペクト比」の設定が「16:9」に設定されているときのみ表示されます。

⑥［ズーム］ボタン

［x1］ボタン：「x1」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がズーム（倍率）1倍で表示されます。

［x2］ボタン：「x2」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がズーム（倍率）2倍で表示されます。

［x4］ボタン：「x4」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がズーム（倍率）4倍で表示されます。

⑦［明るさ］ボタン※2

［暗（−）］ボタン　：画像が暗くなります。
［標準］ボタン　　：初期設定の明るさに戻ります。
［明（＋）］ボタン　：画像が明るくなります。

メモ

- 以下の条件では、「明るさ」ボタンをクリックしても画像の明るさが変化しない場合があります。
  - 屋外等明るい被写体を撮影した場合
  - 光量制限モードをフリッカレスに設定した場合
  - 最長露光時間の設定を1/2000 s以下に設定した場合

---

⑧カメラタイトル

［基本］タブの「カメラタイトル」で入力したカメラタイトルが表示されます。（☞18ページ）

⑨経過年数警告表示ボタン

製造してからの経過年数に応じて、本機の点検時期を点滅表示でお知らせします。

6年目　　　：ボタンをクリックすると、消灯します。
11年目以降：ボタンをクリックすると、点灯表示に変わります。

⑩アラーム発生通知ボタン※2

アラームが発生すると、点滅表示します。ボタンをクリックすると、表示が消えます。（☞12ページ）

⑪全画面表示ボタン

画像が全画面で表示されます（表示される画面のアスペクト比は、モニターに合わせて調整されます）。ライブ画ページに戻るには、PCのキーボードの［Esc］キーを押します。

⑫ワンショットボタン

ワンショット（静止画1枚）を取得し、その画像が別ウインドウで表示されます。画像上で右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、「Save」を選択すると、PCに画像を保存できます。
また、「Print」を選択すると、プリンターに出力できます。

⑬メインエリア

カメラの画像が表示されます。
設定した「時刻表示形式」と「日付表示形式」に従って、現在の日時が表示されます。（☞18ページ）
ズーム（倍率）が2倍、4倍のとき、ライブ画ページのメインエリア内で、画角の中心としたい位置でクリックすると、クリックした位置を中心とするカメラ画像が表示されます。

※1　アクセスレベルが「1.管理者」に設定されているユーザーのみ操作できます。
※2　「ユーザー認証」が「On」に設定（☞37ページ）されているときは、アクセスレベルが「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。

メモ

- アクセスレベルが低いユーザーが操作すると、一時的に画面上の表示が変わる場合がありますが、カメラの動作には影響ありません。
- 画面上ではホイール操作でズーム動作が可能です。
- PCによっては、撮影シーンが大きく変わる際に、画像の上下がずれて表示されることがあります。

複数台のカメラの画像を見る

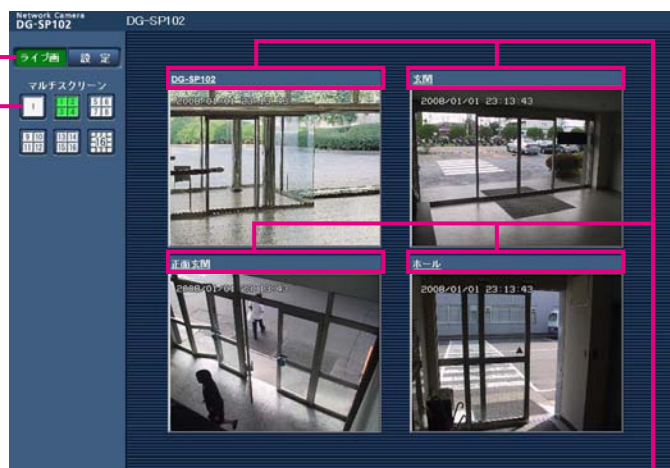
複数台のカメラの画像を1つの画面（マルチスクリーン）で確認します。一度に4台（最大16台）までのカメラの画像を確認できます。マルチスクリーンを使用するには、マルチスクリーンで表示させるカメラの設定が必要です。4台を1グループとして、最大4グループ（合計16台）まで登録することができます。(☞30ページ)

重要

- 16画面表示の場合、PTZカメラからの画像をパン・チルト・ズーム操作できなくなります。
- 4画面表示の場合、PTZカメラからの画像のみパン・チルト・ズーム操作が可能です。PTZカメラの対応機種、バージョンについては、付属CD-ROM内の「はじめにお読みください（Readmeファイル)」をお読みください。
- マルチスクリーンで表示される画像はJPEGのみです。音声は出力されません。
- 画像の表示中に本機の電源を切った場合やネットワークケーブルを抜いた場合は、ライブ画ページからマルチスクリーンに移動することはできません。
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されているカメラをマルチスクリーンで表示すると、「アスペクト比」が「4:3」の表示枠に合わせて、縦に引き延ばした映像になります。

STEP1

［マルチスクリーン］ボタンをクリックします。

→カメラの画像が多画面（最大16画面）で表示されます。以下は4画面の場合です。

①1画面表示にするには、［ライブ画］ボタンをクリックします。

②カメラタイトルをクリックすると、対応するカメラのライブ画像が、別ウインドウのライブ画ページに表示されます。

iモード端末から画像を見る

iモード端末からインターネットを経由して本機に接続し、本機の画像（JPEG形式のみ）を表示します。

重要

●認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名とパスワードの初期設定は以下になります。
ユーザー名：admin
パスワード：12345
セキュリティのため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。

メモ

●iモード端末から本機の画像を見るには、あらかじめインターネットに接続するためのネットワーク設定が必要です。（☞43ページ）

STEP1

iモード端末で「http://本機のIPアドレス/i/」または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net/i/」を入力し、決定ボタンを押します。
→本機の画像が表示されます。

更新

メモ

●HTTPポート番号が80から変更されている場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号/i/」を入力して、本機のポート番号を指定してください。
●DDNS機能を使用している場合は、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名 .nmdns.net/i/」を入力してください。

●認証ダイアログが表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。iモード端末によっては、画面が切り換わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
●ユーザー認証が「Off」の場合、ユーザー名は「admin」のみ有効です。パスワードは設定したパスワードを入力してください。
●iモード端末によっては、画像のサイズが大きい場合に画像の表示ができないことがあります。その場合は､「JPEG設定」の「画質」（☞21ページ）を低画質に近づけると表示されることがあります。
●お使いのiモード端末および契約プランによってはアクセスできない場合があります。

更新

[0］ボタンを押すか［0更新］にカーソルを移動して決定ボタンを押します。
→最新の画像が表示されます。

アラーム発生時の動作について

本機は以下のアラームが発生すると、設定に従いアラーム動作（アラーム発生にともなうカメラ動作）を行います。

アラームの種類について

VMDアラーム　　：設定したVMDエリアの画像に変化（動き）が検出されると、アラーム動作を行います。
※VMD（Video Motion Detector）＝動き検出、モーションディテクター機能
コマンドアラーム：ネットワークを経由して接続機器からの独自アラーム通知を受信すると、アラーム動作を行います。

アラーム発生時の動作について

●ライブ画ページにアラーム発生通知ボタンを表示する（☞9ページ）

アラームが発生すると、「ライブ画」ページにアラーム発生通知ボタンが表示されます。

重要

●「状態通知間隔」（☞19ページ）を「定期（30 s）」に設定した場合、アラーム発生通知ボタンは30秒ごとに更新されます。このため、アラーム発生後、ライブ画ページにボタンが表示されるまで、最大30秒の遅れが発生する場合があります。

●画像を自動的にサーバーへ送信する

アラームが発生すると、あらかじめ指定したサーバーへ画像が送信されます。サーバーへ画像を送信する設定は、アラームページの［アラーム］タブ（☞32ページ）、サーバーページの［FTP］タブ（☞41ページ）で行います。

●Eメールでアラーム発生を通知する

アラームが発生すると、アラームの発生を知らせるメール（アラーム発生通知）を、あらかじめ登録してあるメールアドレスに送信します。アラームメールの送信先は4件まで登録することができます。また、アラームメール送信時に静止画像を1枚添付して送信することもできます。アラームメールの設定は、アラームページの［通知］タブ（☞35ページ）、サーバーページの［メール］タブ（☞40ページ）で行います。

●指定したIPアドレスにアラームが発生したことを通知する（独自アラーム通知）

この機能は、弊社製機器（ネットワークディスクレコーダーなど）を使用する場合に有効な機能です。「独自アラーム通知」を「On」に設定すると、本機がアラーム状態であることを通知することができます。独自アラームの設定は、アラームページの［通知］タブで行います。（☞36ページ）

FTPサーバーに画像を送信する

FTPサーバーに接続し画像を送信します。以下の設定を行うと、アラーム発生時や指定した時間間隔ごとに、撮影した画像をFTPサーバーへ送信できます。

重要

- FTPサーバーに画像を送信する場合、FTPサーバーにログインできるユーザーを制限するため、FTPサーバーにユーザー名とパスワードを設定してください。

アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信）

アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信します。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、あらかじめ設定が必要です。
FTPサーバーの設定は、サーバーページの［FTP］タブで行います。（☞41ページ）
アラーム画像送信を行うかどうか、送信画像に関する設定は、アラームページの［アラーム］タブで行います。（☞32ページ）

メモ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、設定した枚数を送信できないことがあります。

指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信）

時間間隔を指定して定期的に画像を送信します。画像を送信するには、あらかじめ設定が必要です。
送信先のFTPサーバーの設定は、サーバーページの［FTP］タブで行います。（☞41ページ）
FTP定期送信を行うかどうか、送信画像とスケジュールの設定は、ネットワークページの［FTP定期］タブで行います。（☞48ページ）

メモ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できないことがあります。
- アラーム画像送信と定期送信を同時に設定すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、定期送信で設定した間隔で画像が送信されないことがあります。

ネットワークセキュリティについて

本機に装備されているセキュリティ機能

本機には、以下のセキュリティ機能が装備されています。

①ユーザー認証／ホスト認証によるアクセスの制限
ユーザー認証／ホスト認証の設定を「On」にすると、カメラにアクセスするユーザーを制限することができます。(☞37、38ページ)

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限
HTTPポート番号を変更することで、ポートスキャニングなどの不正アクセスを防止できます。(☞44ページ)

重要

- 画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセス制限するなどの対策を実施してください。
- 管理者で本機にアクセスしたあとは、セキュリティ強化のため、必ずすべてのブラウザーを閉じてください。
- 管理者のパスワードはセキュリティ強化のため、定期的に変更してください。

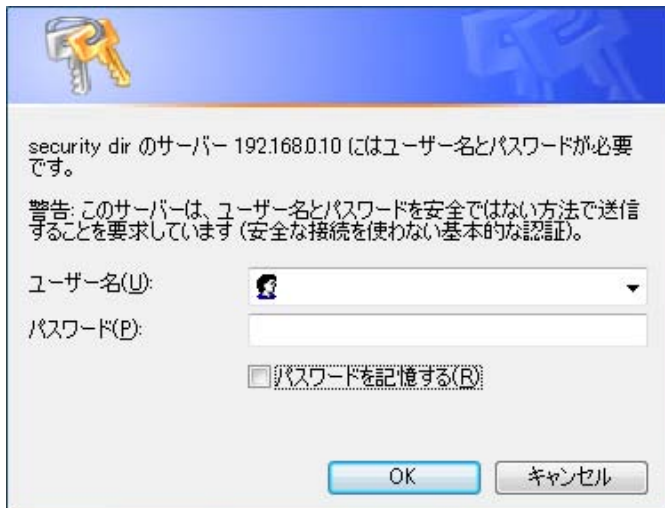
メモ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

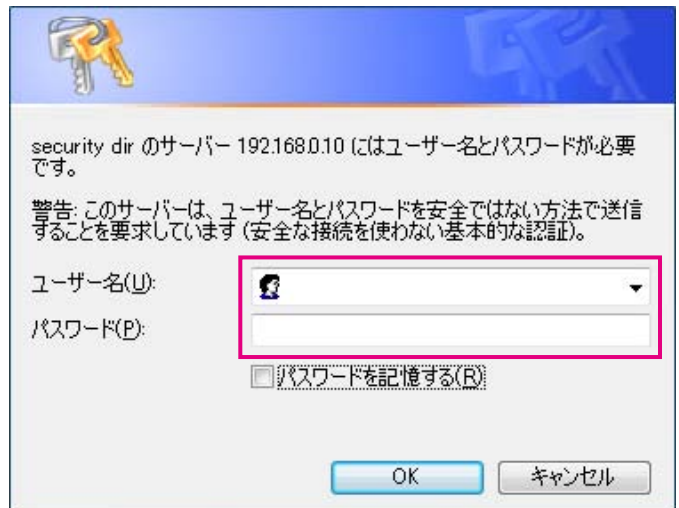
PCから設定メニューを表示する

カメラの設定は設定メニューで行います。

重要

●設定メニューはアクセスレベルが「1.管理者」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、37ページをお読みください。

表示のしかた

STEP1

ライブ画ページを表示します。(☞8ページ)

STEP2

ライブ画ページの［設定］ボタンをクリックします。

→ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

STEP3

ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックします。

→設定メニューが表示されます。

本メニューについての詳細は、17ページをお読みください。

操作のしかた

STEP1

画面左側のメニューボタンをクリックして、設定ページを表示します。
ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。

STEP2

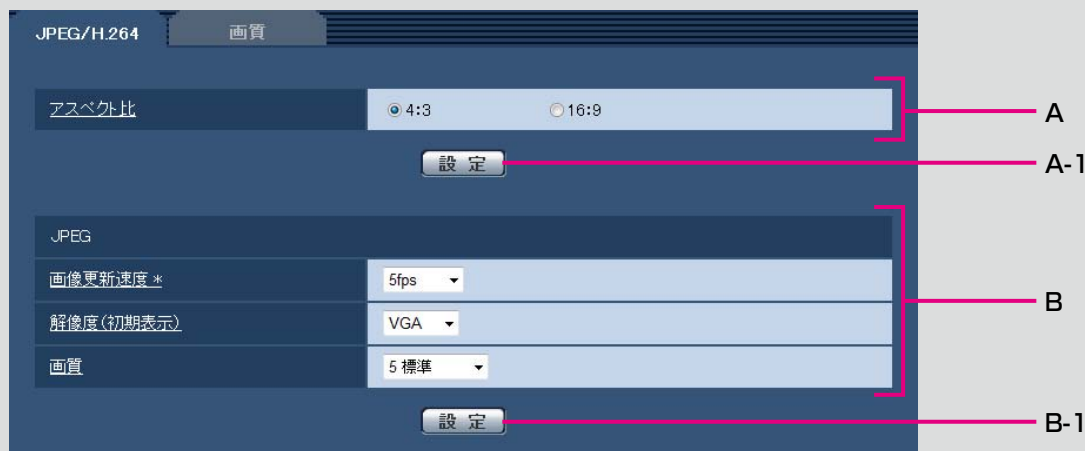
設定ページの各項目を入力します。

STEP3

入力が終了したら、［設定］ボタンをクリックして入力内容を確定します。

重要

- ［設定］、［登録］ボタンがページ内に複数ある場合は、項目ごとに［設定］、［登録］ボタンをクリックしてください。

  <例>

A欄の項目の設定が終了したら、A欄の下の［設定］ボタン（A-1）をクリックします。
A欄の下の［設定］ボタン（A-1）をクリックしないと、設定内容が確定されません。
上記と同様にB欄の項目の設定が終了したら、B欄の下の［設定］ボタン（B-1）をクリックします。

設定メニューの画面について

①［設定］ボタン
設定メニューを表示します。

②［ライブ画］ボタン
ライブ画ページを表示します。

③［基本］ボタン
基本ページを表示します。基本ページでは、日時やカメラタイトルなどの基本設定を行います。(☞18ページ)

④［カメラ］ボタン
カメラページを表示します。カメラページでは、JPEG／H.264画像の画質・解像度などカメラに関する設定を行います。
(☞20ページ)

⑤［マルチスクリーン］ボタン
マルチスクリーンページを表示します。マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンで表示するカメラを登録します。（☞31ページ）

⑥［アラーム］ボタン
アラームページを表示します。アラームページでは、アラーム発生時のアラーム動作やVMDエリアの設定、アラーム通知に関する設定を行います。（☞32ページ）

⑦［ユーザー管理］ボタン
ユーザー管理ページを表示します。ユーザー管理ページでは、本機にアクセスするユーザーやPCを制限する認証登録を行います。（☞38ページ）

⑧［サーバー］ボタン
サーバーページを表示します。サーバーページでは、本機がアクセスするメールサーバーとFTPサーバー、NTPサーバーに関する設定を行います。（☞41ページ）

⑨［ネットワーク］ボタン
ネットワークページを表示します。ネットワークページでは、本機のネットワークに関する設定やDDNS（Dynamic DNS）、SNMP（Simple Network Management Protocol）、FTP（File Transfer Protocol）定期送信に関する設定を行います。
（☞44ページ）

⑩［スケジュール］ボタン
スケジュールページが表示されます。スケジュールページでは、VMD検出許可、画像公開許可を行うスケジュールを設定します。（☞51ページ）

⑪［メンテナンス］ボタン
メンテナンスページを表示します。メンテナンスページでは、システムログの確認やソフトウェアバージョンアップ、本機の設定内容の初期化などを行うことができます。（☞52ページ）

⑫［ヘルプ］ボタン
ヘルプページを表示します。（☞55ページ）

⑬カメラタイトル
現在設定しているカメラタイトルを表示します。

⑭設定ページ
各設定メニューのページを表示します。メニューによっては、複数のタブで構成されているページもあります。下線がついている項目をクリックすると、該当のヘルプページが表示されます。

本機の基本設定を行う［基本］

基本ページでは、カメラタイトルや日時設定に関する設定を行います。

基本設定を行う［基本］

基本ページの［基本］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作のしかた：15、16ページ）
ここでは、カメラタイトルおよび日時などの設定を行います。

［カメラタイトル］

本機の名称を入力します。入力後、［設定］ボタンをクリックすると、入力した名称が画面上部に表示されます。
入力可能文字数：0 ～ 20文字
初期設定：DG-SP102

［日時］

現在の日付時刻を入力します。「時刻表示形式」で「12 h」を選択した場合は、「AM」または「PM」を選択します。
設定可能範囲：2010/01/01 00:00:00 ～
2035/12/31 23:59:59

> **重要**
> ●システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合、NTPサーバーを使用してください。（☞42ページ）

［時刻表示形式］

時刻の表示方法を24 h ／ 12 h ／ Offから選択します。「日時」は、この設定にあわせて入力してください。日付時刻を表示しない場合は、「Off」に設定してください。
初期設定：24h

［日付表示形式］

日付の表示形式を選択します。「日時」を「2010年4月1日　13時10分00秒」に設定した場合、それぞれの表示形式は次のようになります。

DD/MM/YYYY　：01/04/2010 13:10:00
MM/DD/YYYY　：04/01/2010 13:10:00
DD/Mmm/YYYY　：01/Apr/2010 13:10:00
YYYY/MM/DD　：2010/04/01 13:10:00
Mmm/DD/YYYY　：Apr/01/2010 13:10:00

初期設定：YYYY/MM/DD

［サマータイム］

サマータイムを使用するかどうかをIn ／ Outで設定します。サマータイムを使用する地域で設定します。

In　：時刻をサマータイムにします。時刻表示に「＊」が表示されます。
Out　：サマータイムを解除します。

初期設定：Out

［画面内文字表示］

画像上に文字列を表示するかどうかをOn ／ Offで設定します。
「On」に設定すると、「画面内文字（A ～ Z、0 ～ 9、カナ）」で入力した文字列が、「表示位置」で選択した位置に表示されます。
初期設定：Off

[画面内文字（A ～ Z、0 ～ 9、カナ)]

画像内で表示する文字列を入力します。

入力可能文字数：0 ～ 16文字

入力可能文字　：0 ～ 9（半角)、A ～ Z（半角、大文字)、全角カナ、半角記号（! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; = ?)

初期設定：なし（空白）

[表示位置]

ライブ画ページの画像内で、日時と画像内に表示される文字列を表示する位置を選択します。

左上：画面内の左上に表示します。
左下：画面内の左下に表示します。
右上：画面内の右上に表示します。
右下：画面内の右下に表示します。

初期設定：左上

[明るさ状態表示]

明るさ調整時にライブ画ページの画像内に明るさ状態を表示するかどうかをOn ／ Offで設定します。

初期設定：On

[ランプ表示]

以下のランプの点灯／消灯を選択します。動作状態をランプで確認したいときは、「点灯」を選択します。通常は「消灯」を選択し、ランプを消灯します。

- 電源ランプ
- リンクランプ
- アクセスランプ

初期設定：点灯

メモ

- 電源ランプ（緑色）
  ：本機の電源がOnになると点灯します。
- リンクランプ（橙色）
  ：接続機器と通信可能になると点灯します。
- アクセスランプ（緑色）
  ：ネットワークにアクセスしているときに点灯します。

[状態通知間隔]

本機の状態を通知する間隔を以下から選択します。

本機の状態に変化があったときは、ライブ画ページに、アラーム発生通知ボタンを表示して、知らせます。

定期（30 s）：30秒ごとに状態を更新し、通知します。
リアルタイム：状態に変化があった場合に通知します。

初期設定：リアルタイム

メモ

- ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。

[状態通知受信ポート番号]

「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定している場合のみ、状態を通知する通知先の受信ポート番号を入力します。

設定できないポート番号については、ヘルプ画面を参照してください。

設定可能ポート番号：1 ～ 65535

初期設定：31004

[プラグインソフトウェアの自動インストール]

表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールするかどうかを設定します。

許可する　：表示用プラグインソフトウェアを本機からPCへ自動的にインストールします。
許可しない：表示用プラグインソフトウェアを本機からインストールできません。

初期設定：許可する

重要

- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされていないPCでは、画像の表示を行えません。
- プラグインソフトウェアのインストール回数は、本機ブラウザメニュー画面のメンテナンスページの［バージョンアップ］タブで確認できます。

画像に関する設定を行う［カメラ］

カメラページでは、JPEG画像、H.264画像の設定や、画質に関する設定を行います。
カメラページは、［JPEG/H.264］タブ、［画質］タブで構成されています。

アスペクト比を設定する［JPEG/H.264］

カメラページの［JPEG/H.264］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示･操作のしかた：15、16ページ）

［アスペクト比］
アスペクト比を4:3 ／ 16:9のどちらかに設定します。
初期設定：4:3

メモ
- 弊社の他のi-PROシリーズでは、特に明記されていない限り、「16:9」には対応しておりません（2010年10月現在）。
- 画質調整機能は、「アスペクト比」を「16:9」に設定していても、アスペクト比4:3の画角を対象に動作します。また、逆光補正（BLC）機能のマスクエリアは、「アスペクト比」が「4:3」の場合のみ設定することができます。マスクエリアを設定後、「16:9」に変更した場合は、マスクエリアの設定は保持されます。

JPEG画像を設定する［JPEG/H.264］

カメラページの［JPEG/H.264］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示･操作のしかた：15、16ページ）

■JPEG
ここでは、「画像更新速度*」、「解像度」、「画質」を設定します。H.264画像に関する設定については21ページをお読みください。

メモ
- 「H.264配信」を「On」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

［画像更新速度*］
JPEG画像を更新する速度を以下から選択します。
　0.1 fps ／ 0.2 fps ／ 0.33 fps ／ 0.5 fps ／
　1 fps ／ 2 fps ／ 3 fps ／ 5 fps ／ 6 fps * ／
　10 fps * ／ 15 fps * ／ 30 fps *
初期設定：5 fps

[解像度（初期表示）]

ライブ画ページでJPEG画像を表示する際、最初に表示する画像の解像度を以下から選択します。

- 「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合
  QVGA ／ VGA
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合
  320×180 ／ 640×360

初期設定：VGA

[画質]

JPEG画像の画質を設定します。

0 最高画質／ 1 高画質／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 標準／ 6 ／ 7 ／ 8 ／ 9 低画質

初期設定：5 標準

H.264画像に関する設定を行う［JPEG/H.264］

カメラページの［JPEG/H.264］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示･操作のしかた：15、16ページ）
ここでは、H.264画像の「1クライアントあたりのビットレート*」、「解像度」、「画質」などを設定します。
JPEG画像に関する設定については20ページをお読みください。

■H.264（1）・H.264（2）

[H.264配信]

H.264画像を配信するかどうかをOn ／ Offで設定します。

On　：H.264画像を配信します。
Off　：H.264画像を配信しません。

初期設定：On

メモ

- 「H.264(1)」の「H.264配信」を「On」に設定した場合は、ライブ画ページでH.264画像とJPEG画像の両方を表示することができます。
- 「H.264(1)」および「H.264(2)」の「H.264配信」を共に「On」に設定した場合は、その他接続機器を用いてそれぞれの設定でH.264画像を閲覧できます。
- 「H.264(1)」または「H.264(2)」の「H.264配信」を「On」に設定した場合は、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。

[インターネットモード（over HTTP)]

H.264画像をインターネット経由で配信する場合に選択します。ブロードバンドルーターの設定をJPEG画像配信時と同じ設定のままでH.264画像を配信することができます。

On ：HTTPポートを使用してH.264画像を配信します。HTTPポート番号の設定については44ページをお読みください。

Off：UDPポートを使用してH.264画像を配信します。

初期設定：Off

メモ

- 「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト（ポート番号設定：オート)」に制限されます。
- 「On」に設定すると、H.264画像が表示されるまでに数秒かかります。
- 「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数などによっては、H.264画像が表示されない場合があります。
- 「On」に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。
- 「H.264(1)」と「H.264(2)」のどちらかで「On」に設定すると、アクセスできるユーザー数が10人以下に制限されます。

[解像度]

H.264画像の解像度を以下から選択します。

- 「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合 QVGA ／ VGA
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合 320×180 ／ 640×360

初期設定：VGA

[配信モード]

H.264画像を固定ビットレート／フレームレート指定のどちらかに設定します。

固定ビットレート

：H.264画像を「1クライアントあたりのビットレート *」で設定したビットレートで配信します。

フレームレート指定

：H.264画像を「フレームレート *」で設定したフレームレートで配信します。

初期設定：固定ビットレート

メモ

- 「配信モード」を「フレームレート指定」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

[フレームレート *]

H.264画像のフレームレートを以下から設定します。

1 fps ／ 3 fps ／ 5 fps * ／ 7.5 fps * ／ 10 fps * ／ 15 fps * ／ 20 fps * ／ 30 fps *

初期設定：30 fps *

メモ

- 「配信モード」で「フレームレート指定」を選択したときのみ設定できます。
- 「フレームレート *」は、「1クライアントあたりのビットレート *」と連動します。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

[1クライアントあたりのビットレート*]

1クライアントに対するH.264ビットレートを以下から選択します。

64 kbps ／ 128 kbps * ／ 256 kbps * ／ 384 kbps * ／ 512 kbps * ／ 768 kbps * ／ 1024 kbps * ／ 1536 kbps * ／ 2048 kbps * ／ 3072 kbps * ／ 4096 kbps * ／制限なし *

初期設定：1536 kbps *

※制限なし * は「配信モード」で「フレームレート指定」を設定時のみ

メモ

- H.264ビットレートは、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御（ビットレート）」と連動します（☞44ページ）。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。
- 「制限なし *」に設定すると、H.264画像にアクセスできるユーザー数が1人に制限されます。
- 「H.264(1)」と「H.264(2)」の両方を「制限なし *」に設定することはできません。

［画質］

H.264画像の画質を以下から選択します。

画質優先／標準／動き優先

初期設定：標準

メモ

- 「配信モード」で「固定ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

［リフレッシュ間隔］

H.264画像をリフレッシュする間隔（Iフレーム間隔：0.2 ～ 5秒）を以下から選択します。

ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。

0.2 s ／ 0.33 s ／ 0.5 s ／ 1 s ／ 2 s ／ 3 s ／ 4 s ／ 5 s

初期設定：3 s

［配信方式］

H.264画像の配信方式を以下から選択します。

- ユニキャスト（ポート番号設定：オート）：
  1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。本機から画像を送信する場合、「ユニキャストポート番号」が自動的に設定されます。ネットワーク内で使用する場合など、H.264画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」に設定することをお勧めします。
- ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）：
  1台のカメラに最大14人まで同時にアクセスできます。カメラから画像を送信する場合、「ユニキャストポート番号」を手動で設定する必要があります。
  インターネット経由でH.264画像を配信する場合、ブロードバンドルーター（以下、ルーター）に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください（☞44ページ）。詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。
- マルチキャスト：
  1台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。マルチキャストでH.264画像を送信する場合は、「マルチキャストアドレス」、「マルチキャストポート番号」、「マルチキャストTTL/HopLimit」を入力します。

※最大同時アクセス数については、7ページをお読みください。

初期設定：ユニキャスト（ポート番号設定：オート）

［ユニキャストポート番号］※1

ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。

設定可能ポート番号：1024 ～ 50000
（偶数のみ設定可能）

初期設定：

H.264(1)：32004

H.264(2)：32014

［マルチキャストアドレス］※2

マルチキャストのIPアドレスを入力します。

指定したIPアドレスに画像を送信します。

IPv4設定可能範囲：224.0.0.0 ～ 239.255.255.255

IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス

初期設定

H.264(1)：239.192.0.20

H.264(2)：239.192.0.21

メモ

- 使用可能なマルチキャストIPアドレスをご確認のうえ入力してください。

［マルチキャストポート番号］※2

マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。

設定可能ポート番号：1024 ～ 50000
（偶数のみ設定可能）

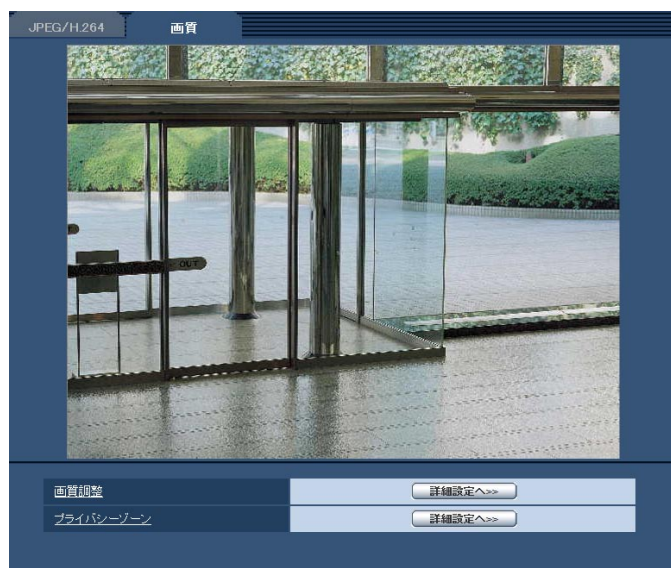
初期設定：37004

[マルチキャストTTL/HOPLimit] ※2
マルチキャストのTTL/HOPLimit値を入力します。
設定可能値：1 ～ 254
初期設定：16

重要
- インターネット経由でH.264画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使用しないLANカードを無効にしてください。

※1 「配信方式」の「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）」が選択されている場合、ユニキャストポート番号を設定する必要があります。
※2 「配信方式」の「マルチキャスト」が選択されている場合、マルチキャストIPアドレスを設定する必要があります。

画質とプライバシーゾーンを設定する［画質］

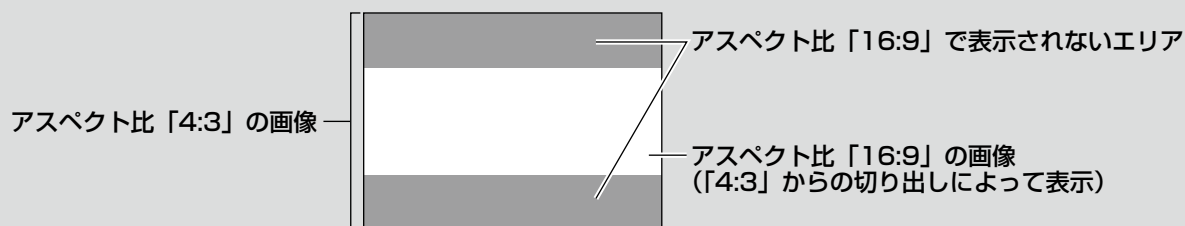
カメラページの［画質］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作のしかた：15、16ページ）
各項目の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、詳細設定画面が別ウインドウで表示されます。［画質］タブに表示されている画像を見ながら、詳細設定を行います。
画質調整、プライバシーゾーンの設定について以下に説明します。

[画質調整]
［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、画質に関する設定画面が表示されます。設定画面は別ウインドウで表示されます。（☞25ページ）

[プライバシーゾーン]
［詳細設定へ>>］ボタンをクリックすると、プライバシーゾーンに関する設定画面が表示されます。
（☞29ページ）

画質の調整を行う（画質調整画面）

カメラページの［画質］タブで、「画質調整」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。（☞24ページ）
画質の設定は別ウインドウで表示された設定画面で行います。値を変更すると、［画質］タブに表示されている画像にも、変更した内容が反映されます。

重要

●JPEG ／ H.264のアスペクト比が「16:9」に設定されている場合、下図のように4:3のアスペクト比の画像から切り出して表示しています。そのため、画質調整機能は、アスペクト比を「16:9」に設定している場合でも、表示されていないエリアの明るさの影響を受けます。

［暗部補正］

暗部補正機能を有効にするかどうかをOn ／ Offで設定します。暗部補正機能を使用すると、画像の暗い部分をデジタル画像処理によってより明るくすることができます。

On　：暗部補正機能を有効にします。
Off　：暗部補正機能を停止します。

初期設定：Off

重要

●「暗部補正」を「On」に設定すると暗い部分のノイズが増えることがあり、また暗い部分と明るい部分の境界付近が、他の暗い部分・明るい部分よりも暗く、または明るく表示されることがあります。

［逆光補正（BLC）］
逆光補正（BLC）機能を有効にするかどうかをOn ／ Offで設定します。
逆光補正機能は、画像のより明るい部分をマスクエリアとして設定することで逆光を補正します。
On ：マスクエリアが自動で設定されます。
Off ：マスクエリアは自動で設定されません。マスクエリアを手動で設定する必要があります。
初期設定：Off

［マスクエリア］
「逆光補正（BLC）」を「Off」に設定すると、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正できます。
マスクエリアの設定方法については、28ページをお読みください。

［光量制御モード］
光量制御を行うモードを以下から選択します。
フリッカレス（50 Hz）
フリッカレス（60 Hz）
：照明による画面のちらつき（フリッカー）を自動補正します。地域によって50 Hz ／ 60 Hzを使い分けます。
ELC（最長露光時間）
：シャッター速度を最長露光時間までの範囲で可変させ、自動的に明るさ制御を行います。
ELC（1/30 s）／ ELC（3/100 s）／
ELC（3/120 s）／ ELC（2/100 s）／
ELC（2/120 s）／ ELC（1/100 s）／
ELC（1/120 s）／ ELC（1/250 s）／
ELC（1/500 s）／ ELC（1/1000 s）／
ELC（1/2000 s）／ ELC（1/4000 s）／
ELC（1/8000 s）
初期設定：ELC（1/30 s）

メモ
- 最長露光時間を短くする（～ 1/8000）と、動きの速い被写体でもぼけにくくなります。
- 最長露光時間を短くすると、感度が落ちます。
- 最長露光時間の設定によっては、フリッカーが発生する場合があります。
フリッカーが発生した場合、
電源周波数が50 Hzの場合は、3/100 s、2/100 s、1/100 s、
電源周波数が60 Hzの場合は、3/120 s、2/120 s、1/120 s、
に設定すると改善されます。さらにフリッカーが残る場合はフリッカレス設定にしてください。
- フリッカレス設定においても、非常に明るい照明下ではフリッカーが発生する場合があります。また、「明るさ」ボタンで画面を暗く設定するとフリッカーが発生しやすくなります。
- フリッカレス設定、ELC（1/2000 s）以下の設定では、「明るさ」ボタンをクリックしても画面の明るさが変化しない場合があります。
- フリッカーが発生した場合は、以下の方法によりフリッカーが軽減される場合があります。
  - カメラの向きを変えて被写体の明るさを抑える
  - 「明るさ」ボタンをより明るく設定する

［ゲイン］
ゲインの調節方法を以下から選択します。
On（High）／ On（Mid）／ On（Low）
：被写体の照度が暗くなると、自動的にゲインが上がり画面を明るくします。（）内のHigh ／ Mid ／ Lowはゲインのレベルです。
Off：ゲインを常に固定した状態で撮影します。
初期設定：On（High）

［オートスローシャッター］
オートスローシャッターは、MOSの蓄積時間を調整して電子感度アップを行います。
設定できる値は以下のとおりです。
Off（1/30 s）／最大2/30 s ／最大3/30 s ／最大4/30 s ／最大8/30 s
初期設定：Off（1/30 s）

重要
- 「オートスローシャッター」を設定すると、フレームレートが下がります。また、画像内にノイズおよび白い点（傷）が見える場合があります。

メモ
- 「最大8/30 s」に設定すると、8倍までの間で自動的に電子感度を上げます。
- 「ゲイン」を「Off」に設定した場合や、ELC（最長露光時間）を1/30以外の設定にした場合は、オートスローシャッターがOff（1/30 s）に設定されます。

[簡易白黒切換]
白黒画像とカラー画像の切り換え方法を以下から選択します。
Off　：カラー画像が選択されます。
Auto　：カメラの周囲の明るさ（照度）が約4 lx以下で白黒映像に切り換えます。
初期設定：Off

[ホワイトバランス]
ホワイトバランスの調節方法を以下から選択します。
Rボリューム（赤色の調節）またはBボリューム（青色の調節）で白の色合いを調節します。
ATW1：自動色温度追尾モードに設定します。カメラが光源の色温度を継続的に確認し、ホワイトバランスを自動調節します。動作範囲は約2700 K～6000 Kです。
ATW2：ナトリウム灯下での自動色温度追尾モードに設定します。ナトリウム灯下でカメラがホワイトバランスを自動調整します。動作範囲は約2000 K～6000 Kです。
AWC　：自動ホワイトバランスコントロールモードに設定します。光源が固定されるため、光源が変化しない場所での撮影に適しています。動作範囲は約2000 K～10000 Kです。
初期設定：ATW1

メモ
- 以下の条件に該当する場合は、忠実に色を再現できないことがあります。この場合は「AWC」に設定してください。
  - 大部分が濃い色の被写体
  - 抜けるような青空および夕暮れ時の太陽
  - 照度が低くすぎる被写体
- 「AWC」を選択した場合は、［設定］ボタンをクリックしてください。

[Rボリューム]
画像の赤色を調節します。
カーソルを「＋」方向に動かすと､赤色は濃くなります。
カーソルを「－」方向に動かすと､赤色は薄くなります。
［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
初期設定：128

[Bボリューム]
画像の青色を調節します。
カーソルを「＋」方向に動かすと､青色は濃くなります。
カーソルを「－」方向に動かすと､青色は薄くなります。
［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
初期設定：128

[デジタル・ノイズ・リダクション]
デジタルノイズリダクション機能を使用すると、低照度時、自動的にノイズを低減します。ここでは、デジタルノイズリダクションの効果のレベルをHigh ／ Lowで設定します。
High　：効果大ですが、残像が多くなります。
Low　：効果小ですが、残像は少なくなります。
初期設定：High

[クロマレベル]
クロマレベル（色の濃さ）を調節します。
カーソルを「＋」方向に動かすと、色は全体に濃くなります。カーソルを「－」方向に動かすと、色は全体に薄くなります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
初期設定：128

[アパーチャレベル]
アパーチャレベル（輪郭補正）を調節します。
カーソルを「＋」の方向に動かすとシャープな画像になり、「－」の方向に動かすとソフトな画像になります。
［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
初期設定：16

[ペデスタルレベル]
カーソルを動かして画像の黒レベルを調節します。
カーソルを「＋」方向に動かすと、画像は明るくなります。カーソルを「－」方向に動かすと、画像は暗くなります。［リセット］ボタンをクリックすると、初期設定に戻ります。
初期設定：128

[閉じる］ボタン
画質調整画面を閉じます。

マスクエリアを設定する

「逆光補正（BLC）」を「Off」に設定（☞26ページ）すると、画像の明るい部分にマスクをかけて、逆光を補正できます。

STEP1

画質調整設定画面を表示します。（☞25ページ）

STEP2

「マスクエリア」の［開始］ボタンをクリックします。

→境界線が表示され、［画質］タブ上に表示された画像が16（4×4）に分割されます。

メモ

- マスクエリアは、「アスペクト比」が「4:3」の場合に設定できます。マスクエリアの設定後に「16:9」に変更すると、マスクエリアの設定は保持されます。

STEP3

マスクをかける分割エリアをクリックします。

→クリックした枠がマスクエリアに設定され、白色になります。マスクを解除するには、マスクエリアを再度クリックします。

STEP4

マスクエリアを設定したら、［終了］ボタンをクリックします。

→［画質］タブの画像の上から枠が消えます。

メモ

- 設定したマスクエリアをすべて解除する場合は、［リセット］ボタンをクリックします。

プライバシーゾーンを設定する（プライバシーゾーン設定画面）

カメラページの［画質］タブの「プライバシーゾーン」の［詳細設定へ>>］ボタンをクリックします。
(☞24ページ)
撮影場所（画像）の中に表示したくない部分がある場合、その部分をプライバシーゾーンとして表示しないように設定できます。プライバシーゾーンは2か所まで設定できます。

[エリア]
設定したい範囲をマウスでドラッグすると、プライバシーゾーンとして設定されます。各ゾーンは重なって設定することもできます。ゾーンは2か所まで設定できます。

メモ
- プライバシーゾーンは、隠す対象よりも広めに設定してください。

[表示形式]
プライバシーゾーンの表示形式を以下に設定します。
　塗潰し　：グレーで表示されます。
　Off　　：表示しません。
初期設定：Off

[設定］ボタン
設定内容が本機に反映されます。

メモ
- プライバシーゾーンは、マウスで選択した範囲よりも大きく設定されることがあります。

[閉じる］ボタン
プライバシーゾーン設定画面を終了します。

マルチスクリーンを設定する［マルチスクリーン］

マルチスクリーンページでは、マルチスクリーンで表示させるカメラを設定します。（☞設定メニューの表示･操作：15、16ページ）

［IPアドレス］

マルチスクリーンで表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。4台を1グループとして、最大4グループ（16台）まで登録することができます。表示したいカメラのHTTPポート番号を変更している場合は、以下のように入力してください。

入力例：

IPv4アドレスの入力例：

192.168.0.10: 8080

IPv6アドレスの入力例：

[2001:db8:0:0:0:0:0:1]:8080

入力可能文字数：1 ～ 128文字

メモ

- ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するPCのDNS設定が必要です。

［カメラタイトル］

カメラのタイトルを入力します。入力したカメラのタイトルがマルチスクリーン画面に表示されます。

入力可能文字数：0 ～ 20文字

メモ

- 16画のマルチスクリーンを選択した場合、カメラタイトルが途中までしか表示されないことがあります。
- 「アスペクト比」を「16:9」に設定していても、マルチスクリーンの表示は「4:3」になります。

アラーム設定を行う［アラーム］

アラームページでは、アラーム動作やアラーム画像、アラームを検出するエリアの設定やアラーム通知に関する設定を行います。
アラームページは、［アラーム］タブ、［VMDエリア］タブ、［通知］タブで構成されています。

アラーム動作に関する設定を行う［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、アラームを検出したときの動作に関する設定を行います。

■アラーム

［VMDアラーム］
「VMD設定へ」をクリックすると、アラームページの［VMDエリア］タブが表示されます。

［コマンドアラーム］
コマンドアラームの入力を受け付けるかどうかをOn／Offで設定します。
コマンドアラームとは、他のカメラからの独自アラーム通知を受信する機能です。「On」に設定すると、複数のカメラで連動してアラーム動作を行うことができます。
初期設定：Off

［受信ポート番号］
コマンドアラームを受信するポート番号を設定します。
設定できないポート番号については、ヘルプ画面を参照してください。
設定可能範囲：1～65535
初期設定：8181

アラーム画像に関する設定を行う［アラーム］

アラームページの［アラーム］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、FTPサーバーへ送信するアラーム画像に関する設定を行います。アラーム画像は、FTPサーバーへ送信されます。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、FTPサーバーの設定が必要です。（☞41ページ）

重要
- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。

■アラーム画像

[FTP設定へ]
クリックするとサーバーページの［FTP］タブが表示されます。（☞41ページ）

[アラーム画像送信]
アラームを検出したとき、FTPサーバーへ画像を送信するかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

[ディレクトリー名]
画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のALARMディレクトリーを指定する場合は、「/ALARM」と入力します。
入力可能文字数：1 ～ 256文字

[ファイル名]
FTPサーバーへ画像を送信するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときのファイル名は、以下のようになります。
　ファイル名：入力したファイル名＋日時（年月日時分秒）＋連続番号
入力可能文字数：1 ～ 32文字

[ポストアラーム]

●画像更新速度
アラーム画像を送信するときの送信間隔を以下から選択します。
　0.1 fps ／ 0.2 fps ／ 0.33 fps ／ 0.5 fps ／ 1 fps
初期設定：1 fps

●画像枚数
送信する画像の枚数を以下から選択します。
　1枚／ 2枚／ 3枚／ 4枚／ 5枚／ 6枚／ 7枚／ 8枚／ 9枚／ 10枚／ 20枚／ 30枚／ 50枚／ 100枚／ 200枚／ 300枚／ 500枚／ 1000枚／ 2000枚／ 3000枚
初期設定：100枚

●録画時間
設定した「画像更新速度」で、設定した「画像枚数」を保存するときにかかる時間が表示されます。

[解像度]
FTPサーバーへ送信するときの画像やアラームメールに添付する画像の解像度を以下から選択します。
- 「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合
  QVGA ／ VGA
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合
  320×180 ／ 640×360

初期設定：VGA

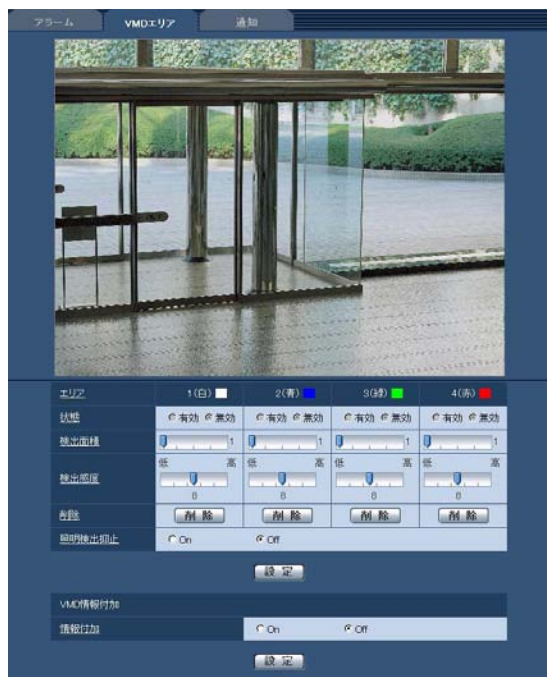
[アラーム時の画質制御]
アラーム発生時の画質を変更するかどうかをOn ／ Offで設定します。
　On：アラーム発生時に「アラーム時の画質」で設定した内容で配信します。
　Off：アラーム発生時に画質を変更しません。
初期設定：Off

[アラーム時の画質]
アラーム発生時の画質を設定します。画質は、以下から選択します。
　0 最高画質／ 1 高画質／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 標準／ 6 ／ 7 ／ 8 ／ 9 低画質
初期設定：5 標準

VMDの設定を行う［VMDエリア］

アラームページの［VMDエリア］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検知させるときのエリアを設定します。
エリアは4か所まで設定できます。設定したエリア内で物体の動きをとらえると、アラーム動作を行います。

重要

- ●モーションディテクター機能を使用して物体の動きを検出したときに、確認用としてアラーム発生通知ボタンを表示（☞9ページ）します。
- ●コマンドアラームを受け付けた場合も、アラーム発生通知ボタンが表示されます。
- ●基本ページで「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定（☞19ページ）している場合でも、ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。
- ●モーションディテクター機能は、盗難、火災などを防止するための機能ではありません。万一発生した事故または損害に対する責任は一切、負いかねます。

[エリア]
画像内でVMDエリアを選択すると、エリア1から順に設定されます。

[状態]
VMD検出を行うかどうかを有効／無効で設定します。
　有効：VMD検出を行います。
　無効：VMD検出を行いません。
初期設定：無効

[検出面積]
VMDエリア内で被写体の動きを検知する面積を、スライダーバーで設定します。設定値が小さいほど、小さな被写体の動きでも検知します。現在の設定値（1 ～ 10）はスライダーバーの右に表示されます。
初期設定：1

[検出感度]
エリア内の動きを検出するときの感度を、スライダーバーで設定します。各エリア毎に個別に設定できます。設定値が大きいほど、動きを感知しやすくなります。現在の設定値（1（低い）～ 15（高い））はスライダーバーの下に表示されます。
初期設定：8

[削除]
削除したいエリアのボタンをクリックすると、エリア枠を削除します。

[照明検出抑止]
照明の明るさなどの変化によるVMD検出を行わないように設定するかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

重要

- ●照明の明るさなどの変化が小さい場合、抑止できない場合があります。
- ●照明検出抑止を「On」に設定し、画面全体に動きがある被写体を検知した場合、VMD検出を行わないことがあります。

■VMD情報付加

[情報付加]
画像にVMD情報を付加して、重畳した画像データを送信するかどうかをOn ／ Offで設定します。
VMD情報は、弊社製ネットワークディスクレコーダー（DG-ND400シリーズ）の検索機能で活用することができます。機能・設定の詳細については、接続する機器の取扱説明書をお読みください。
初期設定：Off

VMD検出エリアを設定する［VMDエリア］

VMDエリアを設定します。

重要

●設定画面で設定を変更中は、VMDアラームを検出しないことがあります。

STEP1

画像上でマウスをドラッグし、エリアを指定します。

→指定した場所がエリア「1（白）」に設定され、枠が表示されます。エリアはエリア番号の1番から順に設定されます。エリア番号の横の色は、対応する枠の色を表しています。また、エリアに設定する枠色の「状態」が「有効」になります。

STEP2

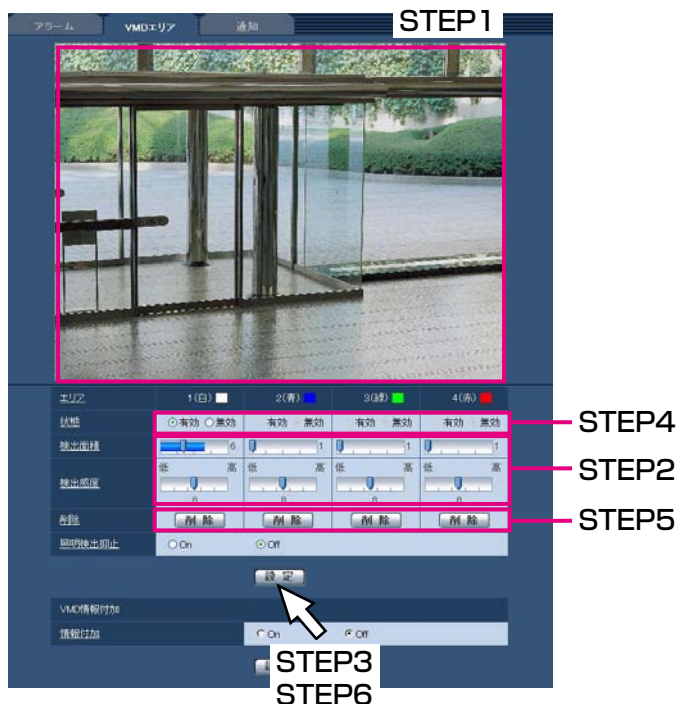
「検出面積」「検出感度」をスライダーバーで設定します。

「検出面積」は、左端から中央までを使用します。「検出感度」は、左端から右端までを使用します。

「検出面積」「検出感度」については、33ページをお読みください。

表示されているエリアにおける動き検出状況が、「検出面積」に表示されます。動き検出状況の表示が、スライダーバーを超えた場合にアラーム動作します。

メモ

●「検出面積」のスライダーバーでうまく設定できない場合は、動き検出状況を確認しながら「検出感度」を変更して調整ください。

STEP3

設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。

重要

●［設定］ボタンをクリックしないと設定内容が確定されません。

STEP4

VMDエリアを無効にする場合は、該当するエリアの「状態」を「無効」に変更し、［設定］ボタンをクリックします。

→無効になった枠色が点線になります。無効に設定すると、エリア内に変化があってもアラームは発生しません。

STEP5

VMDエリアを削除する場合は、削除するエリアの［削除］ボタンをクリックします。

→削除したエリアの枠が消去されます。

STEP6

［設定］ボタンをクリックします。

→設定内容が本機に反映されます。

メール通知に関する設定を行う［通知］

アラームページの［通知］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、アラームメールに関する設定を行います。メール通知を行うには、メールサーバーの設定が必要です。（☞40ページ）

■メール通知

［メール設定へ］
クリックすると、サーバーページの［メール］タブが表示されます。（☞40ページ）

［メール通知］
アラーム発生時にメール通知を行うかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

［画像添付］
メール送信時に画像を添付するかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

メモ
- ［アラーム］タブの「解像度」（☞32ページ）で設定した解像度の画像を添付して送信します。

■メール通知先

［メール通知先1］～［メール通知先4］
通知先のメールアドレスを設定します。通知先は4件まで設定できます。
「アラーム」欄：チェックを入れると、アラーム発生時、メール通知します。
「通知先メールアドレス」欄
：通知先のメールアドレスを入力します。
設定したメールアドレスを削除したいときは、削除したいメールアドレスの［削除］ボタンをクリックします。
入力可能文字数：3 ～ 128文字

［メール件名］
アラームメールの件名を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 50文字

［メール本文］
アラームメールの本文を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 200文字

独自アラーム通知に関する設定を行う［通知］

アラームページの［通知］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、独自アラーム通知に関する設定を行います。

■独自アラーム通知

［独自アラーム通知］
以下の場合に独自アラーム通知を行うかどうかをOn／Offで設定します。

- ●アラーム発生時（独自アラーム通知先「アラーム」欄）
- ●本機の点検時期通知時（独自アラーム通知先「診断」欄）

初期設定：Off

メモ
- ●独自アラームの通知は、「独自アラーム通知先1」から順に通知されます（「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ）。

［通知先ポート番号］
独自アラーム通知先の受信ポート番号を設定します。
設定可能範囲：1 ～ 65535
初期設定：1818

［リトライ回数］
独自アラーム通知ができなかった場合の再試行回数を設定します。
設定可能範囲：0 ～ 30
初期設定：2

■独自アラーム通知先

［独自アラーム通知先1］～［独自アラーム通知先8］
独自アラーム通知先のIPアドレスを設定します。ホスト名での指定はできません。通知先は8件まで設定できます。

「アラーム」欄：チェックを入れると、アラーム発生時、通知します。
「診断」欄　　：チェックを入れると、本機の点検時期を通知します。
「通知先IPアドレス」欄
　　　　　　　：通知先のIPアドレスを入力します。

設定した通知先を削除したいときは、削除したい通知先の［削除］ボタンをクリックします。

重要
- ●通知先が正しく設定されていることを確認してください。通知先が存在しない場合、独自アラーム通知が遅延することがあります。

認証を設定する［ユーザー管理］

ユーザー管理ページでは、PCやiモード端末から本機にアクセスできるユーザーやPC（IPアドレス）を制限する認証登録を行います。
ユーザー管理ページは、［ユーザー認証］タブ、［ホスト認証］タブ、［システム］タブで構成されています。

ユーザー認証を設定する［ユーザー認証］

ユーザー管理ページの［ユーザー認証］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、PCやiモード端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。最大18ユーザーまで登録できます。

メモ

- 同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

［ユーザー認証］
ユーザー認証をするかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

［ユーザー名］
ユーザー名を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 32文字
初期設定：空欄

［パスワード］ ／ ［パスワード確認］
パスワードを入力します。
入力可能文字数：4 ～ 32文字
初期設定：空欄

メモ

- 登録済みのユーザー名を入力し、［登録］ボタンをクリックすると、ユーザー情報が上書きされます。

［アクセスレベル］
ユーザーのアクセスレベルを以下から設定します。

- 1.管理者：本機のすべての操作を行うことができます。
- 2.カメラ制御：画像表示、本機の明るさの操作とアラーム発生通知ボタンの表示を消すことができます。本機の設定はできません。
- 3.ライブ画表示：ライブ画表示のみ行えます。本機の操作、設定はできません。

初期設定：3.ライブ画表示

［ユーザー確認］
「ユーザー確認」の［▼］をクリックすると、登録されているユーザーを確認できます。
登録ユーザーは「登録したユーザー名［アクセスレベル］」で表示されます。
（例：admin［1］）
右の［削除］ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

ホスト認証を設定する［ホスト認証］

ユーザー管理ページの［ホスト認証］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、本機にアクセスできるPC（IPアドレス）を制限するホスト認証設定を行います。

［ホスト認証］
ホスト認証をするかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

［IPアドレス］
本機へのアクセスを許可するPCのIPアドレスを入力します。ホスト名をIPアドレスとして入力することはできません。

メモ
- 「IPアドレス／サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるPCを制限できます。
  例えば、「192.168.0.1/24」と入力し、アクセスレベルで「2.カメラ制御」を選択した場合は、「192.168.0.0」～「192.168.0.255」のPCが「2.カメラ制御」のアクセスレベルで本機へアクセスできます。
- 登録済みのIPアドレスを入力し、［登録］ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。

［アクセスレベル］
ホストのアクセスレベルを以下から選択します。
　1.管理者／ 2.カメラ制御／ 3.ライブ画表示
アクセスレベルについては、37ページをお読みください。
初期設定：3.ライブ画表示

［ホスト確認］
「ホスト確認」の［▼］をクリックすると、登録されているホストのIPアドレスを確認できます。
ホストは「登録したIPアドレス［アクセスレベル］」で表示されます。
（例：192.168.0.21［1］）
右の［削除］ボタンをクリックすると、選択したホスト（IPアドレス）を削除できます。

優先ストリームを設定する［システム］

ユーザー管理ページの［システム］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、複数のユーザーが同時にアクセスした場合でも、画質や画像更新速度を下げることなく、画像を配信できる優先ストリームの設定を行います。

■優先ストリーム

[優先ストリーム]
優先ストリーム配信を使用するかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

メモ
- 「優先ストリーム」を「On」に設定した場合、アクセス可能なユーザー数が制限される場合があります。

[送信先IPアドレス（1)]
1つ目の送信先のIPアドレスを入力します。

[送信先IPアドレス（2)]
2つ目の送信先のIPアドレスを入力します。

[ストリーム種別]
JPEG ／ H.264(1) ／ H.264(2)のいずれかを選択します。
JPEG　　：JPEG画像が配信されます。
H.264(1)：H.264(1)画像が配信されます。
H.264(2)：H.264(2)画像が配信されます。
初期設定：JPEG

[画像更新速度 *]
画像の更新速度を以下から選択します。
「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。
0.1 fps ／ 0.2 fps ／ 0.33 fps ／ 0.5 fps ／ 1 fps ／ 2 fps ／ 3 fps ／ 5 fps ／ 6 fps * ／ 10 fps * ／ 15 fps * ／ 30 fps *
初期設定：1 fps

メモ
- 「H.264配信」を「ON」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

[解像度]
画像の解像度を以下から選択します。
- 「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合
  QVGA ／ VGA
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合
  320×180 ／ 640×360

「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。
初期設定：VGA

サーバーの設定をする［サーバー］

サーバーページでは、メールサーバーとFTPサーバー、NTPサーバーの設定を行います。
サーバーページは、［メール］タブ、［FTP］タブ、［NTP］タブで構成されています。

メールサーバーを設定する［メール］

サーバーページの［メール］タブをクリックします。(☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ)
ここでは、アラームメールを送信するためのメールサーバーの設定を行います。

重要
- 電子メールを受信する端末が文字コードUTF-8に対応していない場合、正常に受信することができません。

［SMTPサーバーアドレス］
電子メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 128文字

［SMTPポート番号］
メールを送信するポート番号を入力します。
設定できないポート番号については、ヘルプ画面を参照してください。
設定可能ポート番号：1 ～ 65535
初期設定：25

［POPサーバーアドレス］
「認証方法」で「POP before SMTP」を選択した場合は、POPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 128文字

重要
- 「SMTPサーバーアドレス」「POPサーバーアドレス」のホスト名を入力するには、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。(☞44ページ)

［認証　認証方法］
メールを送信するときの認証方法を以下から選択します。
なし　　：認証しません
POP before SMTP
　：電子メールを送信する前に、メールを受信するPOPサーバーの認証を行います。
SMTP　：SMTPサーバーの認証を行います。
初期設定：なし

メモ
- 電子メールを送信するための認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

［認証　ユーザー名］
サーバーにアクセスするユーザー名を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字

［認証　パスワード］
サーバーにアクセスするパスワードを入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字

［送信者メールアドレス］
送信元のメールアドレスを入力します。
入力したメールアドレスは、受信メールの「From（差出人）」欄に表示されます。
入力可能文字数：3 ～ 128文字

FTPサーバーを設定する［FTP］

サーバーページの［FTP］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、アラーム画像を送信するFTPサーバーの設定を行います。

［FTPサーバーアドレス］
画像を送信するFTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 128文字

重要
- 「FTPサーバーアドレス」のホスト名を入力する場合は、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（☞44ページ）

［ユーザー名］
FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 32文字

［パスワード］
FTPサーバーにアクセスするパスワードを入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字

［コントロールポート番号］
FTPサーバーのコントロールポート番号を入力します。
設定できないポート番号については、ヘルプ画面を参照してください。
設定可能ポート番号：1 ～ 65535
初期設定：21

［モード］
FTPの通信モードをパッシブモード／アクティブモードから選択します。
通常は「パッシブモード」を選択します。「パッシブモード」で接続できない場合は、「アクティブモード」に切り換えてください。
初期設定：パッシブモード

NTPサーバーを設定する［NTP］

サーバーページの［NTP］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。

重要
- システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合は、NTPサーバーを使用してください。

[時刻調整]
時刻調整の方法を以下から選択します。選択された方法で調整された時刻は、本機の標準時間として使用されます。

マニュアルセッティング：基本ページの［基本］タブで設定された時刻が、本機の標準時間として使用されます。
NTP サーバーに同期：NTPサーバーとの同期で自動調整された時刻が、本機の標準時間として使用されます。

初期設定：マニュアルセッティング

[NTPサーバーアドレス]
NTPサーバーのIPアドレスまたはホスト名を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 128文字
初期設定：なし（空白）

重要
- 「NTPサーバーアドレス」のホスト名を入力するには、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（☞44ページ）

[ポート番号]
NTPサーバーのポート番号を入力します。
設定できないポート番号については、ヘルプ画面を参照してください。
設定可能ポート番号：1 ～ 65535
初期設定：123

[時刻更新間隔]
NTPサーバーから時刻を取得する間隔（1 ～ 24時間で1時間単位）を選択します。
初期設定：1 h

[タイムゾーン]
使用するカメラの地域に応じたタイムゾーンを選択します。
初期設定：（GMT+09:00）大阪、札幌、東京

ネットワークの設定［ネットワーク］

ネットワークページでは、ネットワーク設定およびDDNS（Dynamic DNS）、SNMP（Simple Network Management Protocol）に関する設定を行います。
ネットワークページは、［ネットワーク］、［DDNS］、［SNMP］、［FTP定期］の4つのタブで構成されています。

ネットワークを設定する［ネットワーク］

ネットワークページの［ネットワーク］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
以下の情報は、ネットワークの設定を行うために必要です。
ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- ●IPアドレス
- ●サブネットマスク
- ●デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
- ●HTTPポート
- ●DNS用プライマリーサーバーアドレス、セカンダリーサーバーアドレス（DNSを使用する場合）

■IPv4ネットワーク

［DHCP］
DHCP機能を使用するかどうかをOn ／ Offで設定します。
DHCP機能を使用しないPCと他のネットワークカメラが同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
初期設定：Off

［IPアドレス（IPv4）］
DHCP機能を使用しない場合、本機のIPアドレスを入力します。PCや他のネットワークカメラに設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。
初期設定：192.168.0.10

メモ
- ●DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

［サブネットマスク］
DHCP機能を使用しない場合、本機のサブネットマスクを入力します。
初期設定：255.255.255.0

[デフォルトゲートウェイ]
DHCP機能を使用しない場合、本機のデフォルトゲートウェイを入力します。
初期設定：192.168.0.1

メモ
- DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

■IPv6ネットワーク

[手動設定]
IPv6アドレスを手動で設定するかどうかをOn ／ Offで設定します。
On　：手動でIPv6アドレスを入力します。
Off　：IPv6アドレスの手動入力ができません。
初期設定：Off

[IPアドレス（IPv6)]
「手動設定」を「On」に設定した場合、IPv6アドレスを手動で入力する必要があります。
他の機器と重複しないよう入力してください。

メモ
- 手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるプレフィックス情報を含むIPv6アドレスを設定してください。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

■IPv6/v4共通

[DNS]
DNSサーバーのアドレスを自動（「Auto」）で取得するか、手動で入力する（「Manual」）かを設定します。
「Manual」に設定した場合、DNSの設定を行う必要があります。
DHCP機能を使用する場合は、「Auto」に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。
設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。
初期設定：Manual

[プライマリーサーバーアドレス]、[セカンダリーサーバーアドレス]
「DNS」を「Manual」で使用する場合、DNSサーバーのIPアドレスを入力します。
DNSサーバーのIPアドレスについては、システム管理者にお問い合わせください。

メモ
- IPv4　DNSサーバーとIPv6　DNSサーバーの混在はできません。

[HTTPポート番号]
ポート番号を個別に割り当てます。
以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
設定可能ポート番号：1 ～ 65535
初期設定：80

＜すでに使用されているポート番号＞
20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 554, 995, 10669, 10670, 59000 ～ 61000

[通信速度]
データの通信速度を以下から選択します。通常は、初期設定の「Auto」のまま使用することをおすすめします。
Auto　　　：通信速度が自動設定されます。
100 M-Full ：100 Mbps 全二重
100 M-Half：100 Mbps 半二重
10 M-Full　：10 Mbps 全二重
10 M-Half　：10 Mbps 半二重
初期設定：Auto

[カメラへのFTPアクセス]
カメラへのFTPアクセスを許可するかどうかを許可／禁止で選択します。
初期設定：禁止

[配信量制御（ビットレート)]
データの配信量を以下から選択します。
制限なし／ 64 kbps ／ 128 kbps ／ 256 kbps ／ 384 kbps ／ 512 kbps ／ 768 kbps ／ 1024 kbps ／ 2048 kbps ／ 4096 kbps ／ 8192 kbps
初期設定：制限なし

メモ
- JPEG画像のライブ画像配信とFTP定期送信を同時に動作させるには、「128 kbps」以上のビットレートを選択してください。
- 「配信量制御（ビットレート）」を低く設定した場合、使用環境によっては、ワンショットボタンが動作しない場合があります。
  その場合は、［JPEG ／ H.264］タブの「JPEG」－「解像度」を「QVGA」にするか、または「JPEG」－「画質」を低く設定してください。

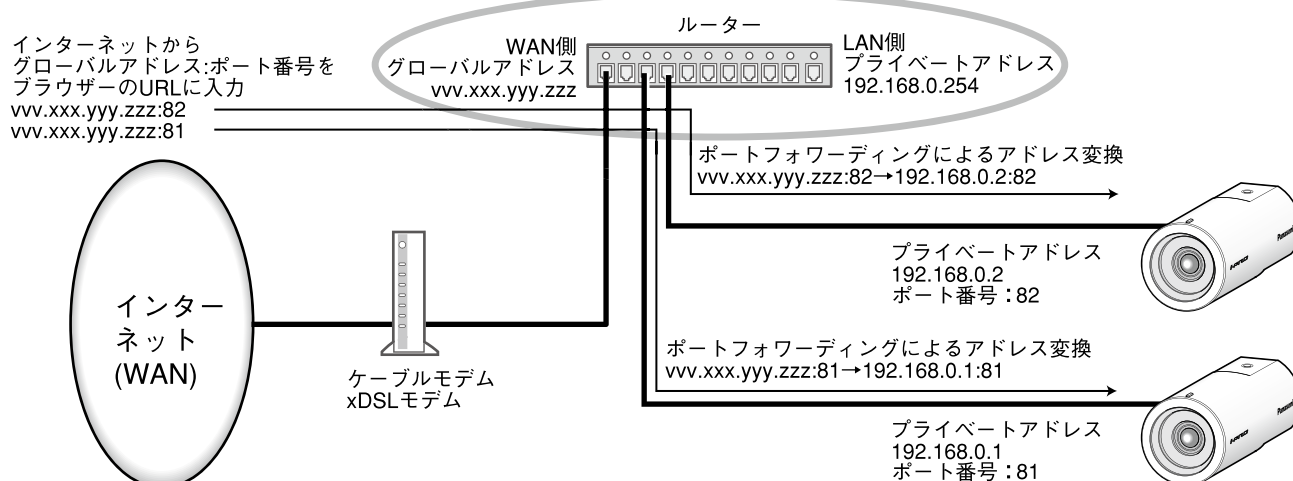
［IP簡単設定有効期間］

IP簡単設定ソフトからのネットワーク設定の操作を有効にする時間を20分間／無制限のどちらかに設定します。

20分間：本機を起動してから20分間の設定操作を有効にします。

無制限　：IP簡単設定ソフトからの設定操作が常時有効になります。

初期設定：20分間

メモ
- 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、「静的IPマスカレード」や「ネットワークアドレス変換（NAT）」などがあります。この機能はルーターに設定します。
- ルーターにカメラを接続してインターネット経由でカメラとアクセスするには、ネットワークカメラごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。

DDNSを設定する［DDNS］

ネットワークページの［DDNS］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
DDNS機能を使用する場合、「DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net」というアドレスを使用してアクセスします。
DDNS機能を使用するには、専用のDDNSサーバーとの接続が必要です。DDNSについての詳細は、ホームページをご覧ください。ホームページのアドレスは、付属のCD-ROM内にあるReadmeに記載してあります。
あらかじめ、DDNSサーバーに登録したホスト名、ユーザー名、パスワードを設定しておきます。

［DDNS］
DDNS機能を使用するかどうかをOn ／ Offで設定します。
初期設定：Off

［ホスト名］
使用するホスト名を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 64文字
初期設定：空欄

［ユーザー名］
DDNSサーバーにアクセスするためのユーザー名（ログイン名）を入力します。
入力可能文字数：1 ～ 32文字
初期設定：空欄

［パスワード］
DDNSサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字
初期設定：空欄

［アクセス間隔］
DDNSサーバーに対してIPアドレスとホスト名を確認する間隔を以下から選択します。
　1 min ／ 10 min ／ 30 min ／ 1 h ／ 6 h ／ 24 h
初期設定：1 h

SNMPを設定する［SNMP］

ネットワークページの［SNMP］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、SNMP機能に関する設定を行います。SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。SNMP機能を使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。

[コミュニティー名]
監視の対象となるコミュニティー名を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字
初期設定：空欄

重要
- SNMP機能を使用する場合は、必ずコミュニティー名を入力してください。コミュニティー名が空欄の場合は、SNMP機能を使用できません。

[機器名]
SNMP機能を使用して本機を管理するための機器名を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字
初期設定：空欄

[機器の物理的位置]
本機を設置した場所を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 32文字
初期設定：空欄

[連絡先]
管理者のメールアドレスまたは電話番号を入力します。
入力可能文字数：0 ～ 255文字
初期設定：空欄

FTP定期送信を設定する［FTP定期］

ネットワークページの［FTP定期］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合の設定を行います。FTPサーバーへ定期的に画像を送信するには、FTPサーバーの設定が必要です（☞41ページ）。画像を送信する場合のスケジュールの設定については、49ページをお読みください。

重要
- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。
- FTP定期送信とアラーム画像送信を同時に使用すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、FTP定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

■FTP定期送信

［FTP設定へ］
クリックするとサーバーページの［FTP］タブが表示されます。（☞41ページ）

［定期送信］
FTP定期送信を行うかどうかをOn／Offで設定します。「On」に設定した場合は、FTPサーバーの設定を行ってください。（☞41ページ）
初期設定：Off

［ディレクトリー名］
送信する画像ファイルを保存するディレクトリー名を入力します。
例えば、FTPサーバーのrootディレクトリー下のimgディレクトリーを指定する場合は、「/img」と入力します。
入力可能文字数：1 ～ 256文字
初期設定：空欄

［ファイル名］
送信する画像ファイル名を入力し、ファイル名形式を以下から選択します。
ファイル名＋日時：「入力したファイル名＋送信日時（年月日時分秒）＋00」をファイル名として使用します。
ファイル名を固定：入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」に設定すると、常に送信したファイルに上書きされます。
入力可能文字数：1 ～ 32文字
初期設定：空欄

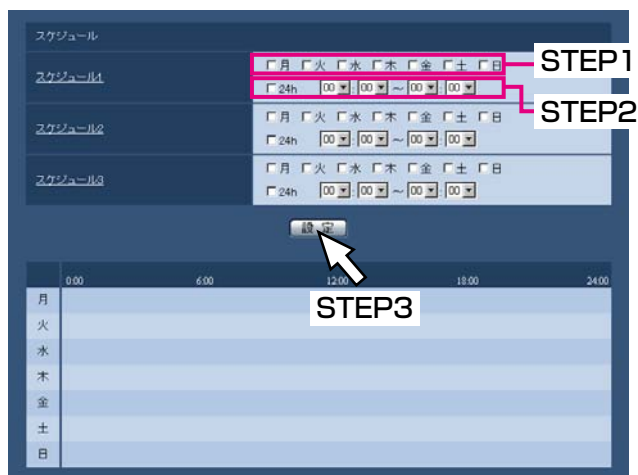
［送信間隔］
送信間隔を以下から選択します。
1 s／2 s／3 s／4 s／5 s／6 s／10 s／15 s／20 s／30 s／1 min／2 min／3 min／4 min／5 min／6 min／10 min／15 min／20 min／30 min／1 h／1.5 h／2 h／3 h／4 h／6 h／12 h／24 h
初期設定：1 s

［解像度］
送信する画像ファイルの解像度を以下から選択します。
- 「アスペクト比」が「4:3」に設定されている場合
  QVGA／VGA
- 「アスペクト比」が「16:9」に設定されている場合
  320×180／640×360

初期設定：VGA

FTP定期送信スケジュールの設定を行う［FTP定期］

ネットワークページの［FTP定期］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合のスケジュールを設定します。定期送信に関する設定については、50ページをお読みください。

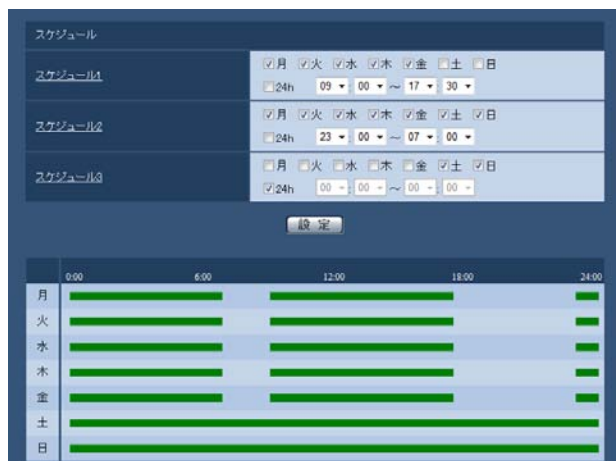
スケジュールの設定のしかた

STEP1

「スケジュール」で、スケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。
→曜日が有効になります。

STEP2

時間を指定するときは、［▼］をクリックして時間を指定します。
時間帯を指定しないときは「24 h」にチェックを入れます。

STEP3

設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。
→画面下に設定した内容が表示されます。

スケジュールの削除のしかた

STEP1

スケジュールを削除する曜日ボックスのチェックをはずします。

STEP2

設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。
→選択した曜日のスケジュールが削除されます。

スケジュールの設定を行う［スケジュール］

スケジュールページでは、VMD検出許可、画像公開許可のスケジュールの設定を行います。スケジュールページは、［スケジュール］タブでのみ構成されています。
スケジュールは、最大5個まで設定することができます。

STEP2

「スケジュール」でスケジュールを設定する曜日ボックスにチェックを入れます。

STEP3

時間を指定するときは［▼］をクリックして時間を設定します。
時間帯を設定しないときは「24h」にチェックを入れます。

STEP4

設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。
→画面下に設定した内容が表示されます。

メモ

- スケジュール1 ～スケジュール5に表示されている色は、画面下のスケジュール欄に表示される線の色を表しています。

STEP1

「動作モード」からスケジュールの動作を選択します。
初期設定時は「Off」に設定されています。

Off　　　　　：スケジュール動作を行いません。
VMD検出許可：スケジュール設定されている間、VMD検出を許可します。
画像公開許可　：スケジュール設定されている間以外は、［ユーザー認証］タブ（☞37ページ）で設定したアクセスレベル2、3のユーザーからの画像閲覧を禁止します。

メモ

- 「画像公開許可」で使用する場合は、［ユーザー認証］タブの「ユーザー認証」（☞37ページ）を「On」に、［ホスト認証］タブの「ホスト認証」（☞38ページ）を「Off」に設定してください。

本機のメンテナンスを行う［メンテナンス］

メンテナンスページでは、システムログの確認やソフトウェアのバージョンアップ、本機の初期化などを行います。
メンテナンスページは、［システムログ］タブ、［バージョンアップ］タブ、［初期化］タブで構成されています。

システムログを確認する［システムログ］

システムログは、本機の内部メモリーに最大100件まで保存できます。
保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。
カメラの電源を切るとログは消去されます。

[No]
システムログの通し番号が表示されます。

[発生日時]
ログの発生日時が表示されます。

メモ
- 「時刻表示形式」（☞18ページ）を「Off」に設定している場合、ログの発生日時は24時間形式で表示されます。

[エラー内容]
システムログの内容が表示されます。
各システムログの内容について詳しくは、55ページをお読みください。

ソフトウェアのバージョンアップを行う［バージョンアップ］

メンテナンスページの［バージョンアップ］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示･操作：15、16ページ）
ここでは、本機のソフトウェアのバージョンを確認し、ソフトウェアを最新のバージョンに更新できます。バージョンアップ用ソフトウェアについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

［代表品番］、［MACアドレス］、［シリアル番号］、［ソフトウェアバージョン］、［IPLバージョン］、［HTMLバージョン］、［IPアドレス（IPv6）］、［プラグインソフトウェアのインストール回数］、［製造からの経過年数］

本機の各情報が表示されます。

STEP1

お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアをPCのハードディスクにダウンロードします。

重要
- 保存ディレクトリーには、スペース、全角文字は使用できません。

STEP2

［参照］ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定します。

STEP3

ラジオボタンをクリックして、バージョンアップ完了後にデータの初期化を行うかどうかを選択します。

メモ
- 初期化を行うと、設定データの復元ができませんのでご注意ください。

STEP4

［実行］ボタンをクリックします。
→バージョンアップの実行とデータ初期化の確認画面が表示されます。バージョンアップ後にデータの初期化を行わない場合は、確認画面は表示されません。

重要
- バージョンアップを行った後は必ずインターネット一時ファイルを削除してください。（☞59ページ）
- バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるPCで行ってください。
- バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認のうえ、その指示に従ってください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、当社指定のimgファイルを使用してください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアのファイルは、必ず「sp102_xxxx.img」を使用してください。
  ※「xxxx」にはソフトウェアのバージョンが入ります。
- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。
- バージョンアップ中は、バージョンアップが終了するまでいっさいの操作を行わないでください。
- 以下のネットワーク関連のデータは「バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行う」を選択した場合でも初期化されません。
  DHCPのOn／Off、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、通信速度、配信量制御（ビットレート）、時刻設定
- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を初期化・再起動する［初期化］

メンテナンスページの［初期化］タブをクリックします。（☞設定メニューの表示・操作：15、16ページ）
ここでは、本機の設定データやHTMLの初期化、本機の再起動を行います。

［設定データ初期化］
［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化されません。
初期化動作を行うと、約2分間操作できません。

［HTML初期化］
［実行］ボタンをクリックすると、HTMLファイルを初期設定に戻します。
初期化動作を行うと、約2分間操作できません。

［設定データ／HTML初期化］
［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容とHTMLファイルを初期設定に戻します。ただし、ネットワーク関連の設定内容は初期化されません。
初期化動作を行うと、約2分間操作できません。

［カメラの再起動］
［実行］ボタンをクリックすると、本機を再起動します。再起動後、電源投入時と同様に約2分間操作できません。

メモ
- ネットワークの設定内容（☞43ページ）を初期化する場合は、本機の電源を切り、本機の初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れて、そのまま初期化ボタンを約5秒間押し続けてください。約2分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。電源を入れてから約2分間は本機の電源を切らないでください。
- 初期化、再起動を行うとシステムログ（☞51ページ）が消去されます。

ヘルプを見る

操作方法、設定方法を画面上で知りたい場合は、ヘルプ画面をお読みください。

ヘルプ画面を表示する

STEP1

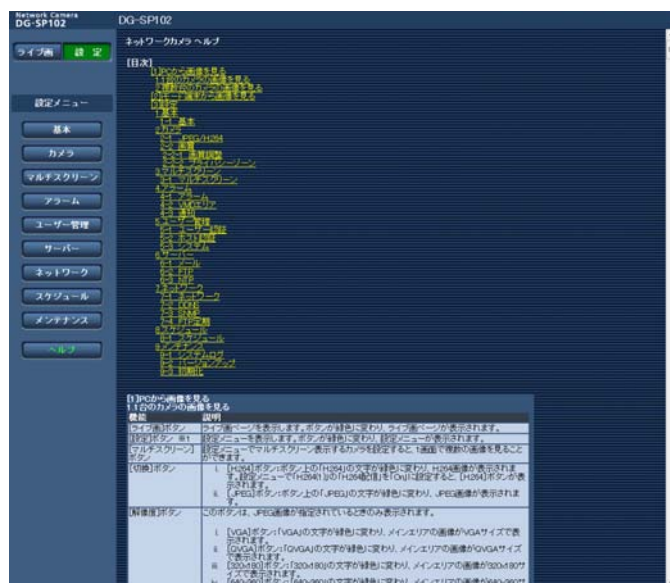
［設定］ボタンをクリックします。
→設定画面を表示します。

下線の項目をクリックすると、ヘルプポップアップ画面が表示されます。ヘルプポップアップ画面を表示したまま、設定することができます。

STEP2

［ヘルプ］ボタンをクリックします。
→「ヘルプ」画面が表示されます。

STEP3

項目をクリックすると、該当する操作の説明が表示されます。

システムログ表示について

SMTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
POP3サーバーエラー	認証エラー	●ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP3サーバー見つからず	●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ●POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
SMTPサーバーエラー	SMTP認証エラー	●ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	DNSからMailサーバーアドレス解決できず	●DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ●DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	SMTPサーバー見つからず	●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ●SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	●メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

FTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
FTPサーバーエラー	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず	●FTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。 ●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。
	FTPサーバー見つからず	
接続エラー	転送エラー	●FTPサーバーの設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。 ●各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。
	Passiveモードでのエラー	
	ログアウト失敗	
	ディレクトリー変更に失敗	
	ユーザー名パスワードエラー	
内部エラー	その他のエラー	●FTP機能で問題が発生しています。 FTP設定を再確認してください。

DDNSに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	●DDNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。 ●DDNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	ユーザー名パスワードエラー	●ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
	IPアドレスアップデートエラー	●DDNSサーバーでIPアドレスアップデートエラーが起こりました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	●DDNS機能で問題が発生しています。DDNS設定を再確認してください。

NTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ●NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
内部エラー	その他のエラー	●NTP機能で問題が発生しています。NTP設定を再確認してください。
NTPによる時刻同期成功	時刻自動補正しました	●時刻修正が成功しました。

ログインに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	ユーザー名またはIPアドレス	●ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのユーザー名を表示します。 ●ホスト認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのIPアドレスを表示します。

製造年月警告に関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	製造からＸ年経過しました。点検をおすすめします。	●本機が製造から6年または11年以上経過した時点で表示します。安全と性能維持のために日常点検に加え、販売店での点検をおすすめします。

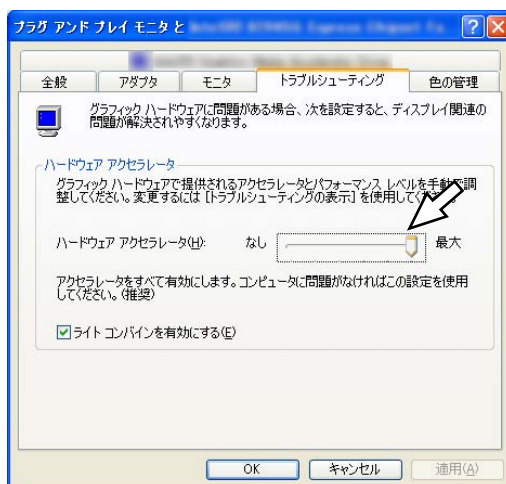
故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

現　　象	原　因　・　対　策	参照ページ
ウェブブラウザーからアクセスできない	●ネットワークコネクターにカテゴリー 5以上のケーブルは接続されていますか？	取扱説明書 基本編
	●リンクランプは点灯していますか？ 点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	取扱説明書 基本編
	●本機の電源は入っていますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。	取扱説明書 基本編
	●本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？	43
	●間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 Windowsのコマンドプロンプトで 　＞　ping 「本機に設定したIPアドレス」 で、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。 Replyが返ってこない場合は、次のいずれかの操作を行ってください。 ・本機を再起動し、20分以内にIP簡単設定ソフトを使って、IPアドレスを変更する。 ・初期化ボタンにより、本機を再起動して初期化を行い、IPアドレスを「192.168.0.10」に戻す。 その後、本機にアクセスしてIPアドレスを再設定する（このとき、本機の設定データはすべて初期化されます）。	– 取扱説明書 基本編
	●HTTPポート番号に554を設定していませんか？ HTTPポート番号は、本機で使用する20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 554, 995, 10669, 10670, 59000 ～ 61000以外のポート番号を使用してください。	44
	●設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ 設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか？ [同一サブネット内に本機とPCが接続されている場合] 本機とPCのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか。また、ウェブブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 [本機とPCが異なるサブネットに接続されている場合] 本機に設定したデフォルトゲートウェイの値は間違っていませんか？	–

現　　象	原　因　・　対　策	参照ページ
画像が表示されない	●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。	3
	●DirectXのバージョンは9.0c以上ですか？ 以下の手順でDirectXのバージョンを確認してください。 （1）PCのスタートメニューから［ファイルを指定して実行］を選択する。 （2）「dxdiag」と入力し、［OK］ボタンをクリックする。 バージョンが9.0cよりも低い場合は、Microsoft社のホームページから最新のDirectXを入手してください。	–
	●インターネット一時ファイルの設定において、「保存している新しいバージョンの確認」が「ページを表示するごとに確認する」に設定されていない場合、ライブ画ページの画像が表示されないことがあります。 以下の手順を行ってください。 （1）Intenet Explorerで［ツール］－［インターネットオプション］を選択する。 （2）Intenet Explorer 7.0、Intenet Explorer 8.0の場合 「閲覧の履歴」の［設定］ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「Webサイトを表示するたびに確認する」を選択する。 Intenet Explorer 6.0の場合 「インターネット一時ファイル」の［設定］ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「ページを表示するごとに確認する」を選択する。	–
画像が更新されない	●ウェブブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。	取扱説明書 基本編
	●ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。PCのキーボードの［F5］キーを押すなどして、画像の取得要求を行ってください。	–
カメラ画像が出ない（暗い）	●「明るさ」が暗くなるように設定されていませんか？ 明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。	9
画像が白っぽい	●「明るさ」が明るくなるように設定されていませんか？ 明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。	9
画像がちらつく	●ちらつきが気になる場合は、「光量制御モード」を「フリッカレス（50 Hz）」「フリッカレス（60 Hz）」に設定してください。	26
	●フリッカレス設定においても、非常に明るい照明下ではちらつき（フリッカー）が発生する場合があります。また、［明るさ］ボタンで画面を暗く設定するとフリッカーが出やすくなります。フリッカーが発生した場合は、以下の方法により軽減される場合があります。 • カメラの向きを変えて被写体の明るさを抑える • ［明るさ］ボタンをより明るく設定する	26
ライブ画ページでアラーム発生通知ボタンがリアルタイムに表示されない	●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」がインストールされているか確認してください。	3
	●状態通知間隔が「リアルタイム」になっていますか？	19
ライブ画ページの画像が表示されない	●PCのキーボードの［F5］キーを押すか、［ライブ画］ボタンをクリックしてください。	8

現　象	原　因　・　対　策	参照ページ
画像がうまく更新されない、表示されない	●以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。 （1）Internet Explorerで［ツール］－［インターネットオプション］を選択する。 （2）「インターネット一時ファイル」の［ファイルの削除］ボタンをクリックする。	－
	●ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	－
	●通信回線やPCによっては、画像の表示が一時的に更新されない場合がありますが、次のフレームまたはリフレッシュ周期で復帰すれば、異常ではありません。	－
各種ランプが点灯しない	●設定メニュー［基本］でランプ表示設定が「消灯」に設定されていませんか？ ランプ表示設定を「点灯」に設定して下さい。	19
H.264画像が表示されない	●表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 3」がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4S」を削除した場合、H.264画像の表示が行われなくなります。 その場合、「Network Camera View 3」を削除後、「Network Camera View 4S」のインストールを行ってください。	3
複数のウェブブラウザーを起動してH.264画像を表示したとき、1つのウェブブラウザーに複数のカメラ画像が切り換わり表示される	●PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。 本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。 ここでは、Windows XP を例に説明します。 （1）デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。 （2）画面のプロパティ画面で［設定］タブをクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。 （3）［トラブルシューティング］タブをクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」のパフォーマンスレベルを調節し、「なし」にしてください。	－

故障かな!?（つづき）

お使いのPCのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下をおよぼしたりすることはありません。

現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。

現　象	原　因　・　対　策	参照ページ
下記メッセージの情報バーが表示される。「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」	●情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	–
下記メッセージの情報バーが表示される。「このサイトには、次のActiveXコントロールが必要な可能性があります:'Panasonic System Networks Co.,Ltd.からの'nwcv4Ssetup.exe インストールするには、ここをクリックしてください...」	●情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。 セキュリティの警告画面が表示されますので、［インストールする(I)］ボタンをクリックしてください。	–
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	●Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、［インターネット］を選択します。［レベルのカスタマイズ］ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウインドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	–
画像が表示用の枠と一致していない	●画像のDPI設定が120 DPIに設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 画面のプロパティ画面で［設定］タブをクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックしてDPI設定を変更してください。	–

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル **0120-878-410**（バナハ　ヨイワ）　受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

便利メモ	お買い上げ日	年　　月　　日	品　番	DG-SP102
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

3TR006593AZB
N0810-0